



コミュニティ・スクール通信 Vol. 3

令和7年3月19日
山田小学校CS事務局発行

令和6年度 第4回学校運営協議会が 開催されました

(令和7年2月28日(金) 山田小学校地域ボランティア室)

学校運営協議会委員10名、山田小学校各推進委員担当者4名の出席のもと、第4回学校運営協議会が開催されました。まず、1年間の活動の総括として、“地域と学校パートナーシップ事業”や“後期学校評価”について報告と質疑が行われました。

協議事項として、まず、来年度より全学年で毎年の学級編制替え(クラス替え)を検討していることについて、説明と協議を行い、委員の皆さんに承認をいただきました。

また、登校班を廃止する件についても、再度、説明を行い、ご理解をいただきました。これら2点について、委員の皆さんからは、学校内でしっかりとした考えて進めるのであれば、ぜひ実行してみて、その都度、検討していきましょう、と心強いお言葉をいただきました。

続いて、令和7年度の学校運営の基本方針(教育ビジョン)について、校長より説明がありました。

教育目標を『やさしく 正しく 進んで』とし、“思考する力” “かかわる力” “自律する力”の3つの力を育む2年目とし、本年度の学校評価の結果をふまえ、修正を加えて、継続して学校運営を行っていきたいと考えている。

学力向上推進委員会、心の教育推進委員会、健康・体力向上推進委員会、特別支援教育部それぞれの委員会や部会を中心に進めるが、単独で進めていくわけではなく、各委員会や部会で連携をとりながら、学校全体で子どもたちの育成を目指す。



協議の結果、委員の皆さんに承認をいただきました。



その後、意見交換・情報交換として、地域と学校とのかかわり（パートナーシップ事業を含めて）を今以上に深めていくために、どのような活動を行っていくと良いか、また、子どもたちと一緒にどのような活動を行っていきたいか、について協議が行われました。

- ・防災訓練を地域と学校で一緒にやってはどうか。
- ・山田校区の防災すごろくを作ってみてはどうか。
- ・夏休みに行っているラジオ体操や各地域のお祭りをグラウンドなど、1か所で行えないだろうか。
- ・地域には多才な方が多いので、山田校区の人材バンクを作ってはどうか（ボランティアを募集する際にも声をかけやすくなるのでは）。
- ・学校、ふれあい協議会、PTA、スポーツ振興会すべての年間活動予定が入ったカレンダーのようなものを作成してはどうか。

などなど、活発な意見交換が行われました。来年度、実際に活動を行っていけるよう、委員の皆さんとさらに協議を続けていきたいと思います。



コミュニティ・スクール（CS）とは、「学校運営協議会」が設置された学校のことをいいます。協議会は、保護者、地域の代表者、学校教職員などで構成されます。未来を担う子どもたちにどう育ってほしいかを話し合い、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支えていくという取組です。